

令和3年度 第2回 インターンシップ委員会 議事要旨

1. 日 時 令和3年6月17日（木） 10:00～11:00
2. 場 所 オンラインで開催
生物資源産業学部会議室（建設棟2階）を会場として提供
3. 出席者 宇都教授（委員長）、中澤教授（副委員長）、玉井准教授、白井講師、佐々木准教授、向井准教授、宮脇准教授
4. 欠席者 森松教授
5. 陪席者 （技術支援部）勢川技術職員
（生物資源産業学部）正本学務係長、岩野学務係員

6. 議 題

（1）学生が独自に見つけてきた企業研究について

委員長から説明があり、審議の結果、一部修正の上、承認された。

成績評価については、宇都委員長と中澤副委員長の二人で相談の上、評価の方法を決めることになった。

（2）学生への通知について

委員長から説明があり、審議の結果、議題2 - 4資料と2 - 5資料を一部修正の上採用した。また、以下のことが承認された。

- ・学生独自の企業研究については、まず事前に使用したい企業資料を **manaba** に提出させ、宇都委員長と中澤副委員長で審査を行い、参考資料に値するかどうか判定する。
- ・判定は週ごとに提出されたものに対してまとめて行い、そのつど結果を **manaba** で学生に発表する。
- ・資料の提出締切は8月末とする。

（3）令和3年度後期のインターンシップについて

委員長から説明があり、審議の結果、後期もレポートの代替措置を残しつつ、対面のインターンシップについてどうするか引き続き継続審議することになった。

（4）実践型インターンシップの認定について

委員長から説明があり、審議の結果、実践型インターンシップに学生が参加した場合、申請があれば、生物資源産業学部のインターンシップとして単位認定をすること、学生にその旨を通知することが承認された。

（5）その他

なし

7. 報 告

(1) 令和2年度実施のインターンシップ成績登録について

委員長から令和2年度実施のインターンシップの残日数がゼロになっている学生について令和3年度インターンシップの単位を認定したことについて報告があった。

(2) 新規企業の追加について

委員長から令和3年度前期インターンシップ代替措置の協力企業の追加について報告があったほか、中澤副委員長、向井委員から代替措置の担当者の変更について報告があった（別紙）。

(3) その他

玉井委員から、エヌ・アンド・イー株式会社との話し合いを行った旨の報告があった。